

技能実習生  
47都道府県プロファイリング

# 鹿児島県



# 農業の人手不足解消へ 鹿児島県

## 外国人実習生受け入れで協議会

2018年6月1日



農業の人手不足解消に期待される外国人技能実習生の受け入れをサポートしようと農業団体や県などで行う協議会が31日、設立された。人材を求める農業法人の相談を受け付け、情報を提供する。実習生の受け入れ窓口になる監理団体を対象に研修会を開くことも決めた。

県内の農林水産業の有効求人倍率は全職種平均より高く、人手不足が深刻化している。2017年の技能実習生は全分野で3378人に上り、12年の2・3倍に増えた。

県は4月、鹿児島市の県農業・農村振興協会内（県庁11階）に農業労働力支援センターを開設した。農業団体やハローワークと連携し、求人・求職情報の収集やマッチングを後押しするのが目的だ。

# 「廃校」で外国人研修、“一石二鳥”の取り組みに注目 急増する実習生の施設確保へ 全国のモデルケースに

2018/7/17



日本で働きながら技術を学ぶ外国人技能実習生を受け入れている鹿児島市の監理団体が、**鹿児島県内の閉校した小学校を実習生の研修施設として活用する**計画を進めている。人手不足などを背景に、来日する技能実習生は急増しており、語学などを学ぶ施設の確保は喫緊の課題。一方、地方では少子化の影響で学校の統廃合が進み、廃校が増え続けている。**国際理解と地域再生に向けた一石二鳥の試み**が注目されている。

同県薩摩川内市では08年から今年3月までに小中学校22校が閉校。同市には**企業誘致などのために1億円を上限にした改修費用の助成制度**があり、IDD Oの岩神徹也理事長（55）は「薩摩川内市の助成は魅力的だった」と言う。

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/433251/>

# 沖永良部島の若手農家が、実習生をおもてなし バーベキュー

2019.02.16



島では若手農家が中心となっている団体「エラブネクス トファーマーズ (ENF)」が、技能実習生らをもてなすパーティーを企画するなど、**外国からの実習生たちと友好的な関係を作るための努力**を続けています。

こういった第一次産業の働き手として技能実習生が受け入れられていますが、離島という環境のためか、実習生が島から出て行ってしまおうという厳しい現実があります。島がこれまでの**約15年のあいだに受け入れた実習生約100人の内、10人以上が島から逃げ出した**という統計があります。実習生たちがせっかく慣れてきた沖永良部島から逃げ出す理由は、大きく分けて二つです。

それは**お金と環境**です。せっかく沖永良部島に来てくれた実習生なのだから、島の良いところをもっと知ってもらいたい。そして技能実習生がしっかり働ける環境と整えていくことが島の将来については重要だという、とらえ方です。

<https://www.nankainn.com/news/local/%E5%A4%96%E5%9B%BD%E4%BA%BA%E5%AE%9F%E7%BF%92%E7%94%9F%E3%82%92%E3%81%8A%E3%82%82%E3%81%A6%E3%81%AA%E3%81%97>

# 楽しい夏休み「テリマカシー」 インドネシアの技能実習生と 小学生が交流 鹿児島・薩摩川内市

2019/7/29



鹿児島県薩摩川内市とさつま町の小学生24人が、同市の南瀬小跡に開設された外国人技能実習生の研修施設に26～28日の2泊3日で泊まり込み、インドネシアの実習生22人と交流した。実習生は今月上旬から施設で日本語や日本文化を学ぶ。市内には廃校を利用した実習生研修施設が計2カ所ある。川内青年会議所が、地域に外国人の研修施設があることを知り、今後増える外国人とのコミュニケーション能力をつけてもらおうと企画した。

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/530996/>

# (鹿児島) 初のベトナム人技能実習生の入舎式 社福法人

2019年9月29日



特別養護老人ホームなどを運営する社会福祉法人「慶生会」（鹿児島市）が、ベトナム人技能実習生の受け入れを始めた。彼女らのための寄宿舍が新設された同市下福元町で28日、入舎式が開かれた。同法人が技能実習生を受け入れるのは初めてという。



<https://www.asahi.com/articles/ASM9X320HM9XTLTB002.html>

# “コロナ解雇”の技能実習生に食品が贈られる 霧島市

2020年6月5日



新型コロナウイルスの影響で、解雇された外国人技能実習生を支援しようと、鹿児島県霧島市で5日、実習生に食べ物が贈られました。

5日は、霧島市隼人町のNPO「フードバンクお助けマン霧島」で、ベトナムからの技能実習生の女性13人がラーメン用の生めん72食分や塩飴などのお菓子を受け取りました。生めんは、鹿屋市のラーメン店が新型コロナウイルスによるイベント中止で使わなくなったために寄贈したものです。

実は、食べ物を受け取った技能実習生は、霧島市内の縫製工場で先月まで働いていましたが、新型コロナウイルスの影響で工場が閉鎖され仕事を失いました。次の実習先はまだ決まっておらず、不安な気持ちを抱えています。

[https://blogs.mbc.co.jp/mbcnews/cat\\_covid19/8097/](https://blogs.mbc.co.jp/mbcnews/cat_covid19/8097/)

# ベトナム人技能実習生、餅つき満喫 コロナ下单調な 生活解消に トヨタカローラ鹿児島

2021/03/11

トヨタカローラ鹿児島（鹿児島市）で自動車整備に従事するベトナム人技能実習生が7日、餅つきを体験した。来日から約1年。**新型コロナ下で職場と住まいの往復だけの日々を励まそうと、上司らが企画した。**

「この状況でもいい思い出をつくってあげたい」と考えた上司やその知人ら有志が準備。石臼ときねで毎年餅をついている始良市蒲生の教員、外園清視さん（64）宅に招いた。

